



2026年2月2日

各位

会社名 ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉村 修一
(コード番号: 336A 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 山田 浩司
(TEL. 03-6459-3445)

ダイナミックマッププラットフォーム、3Dmapspocket®の機能を拡張 “総合 3D 空間プラットフォーム”へ進化 3D 計測・分析・仮想配置をワンストップで実現し都市/インフラ/不動産に対応

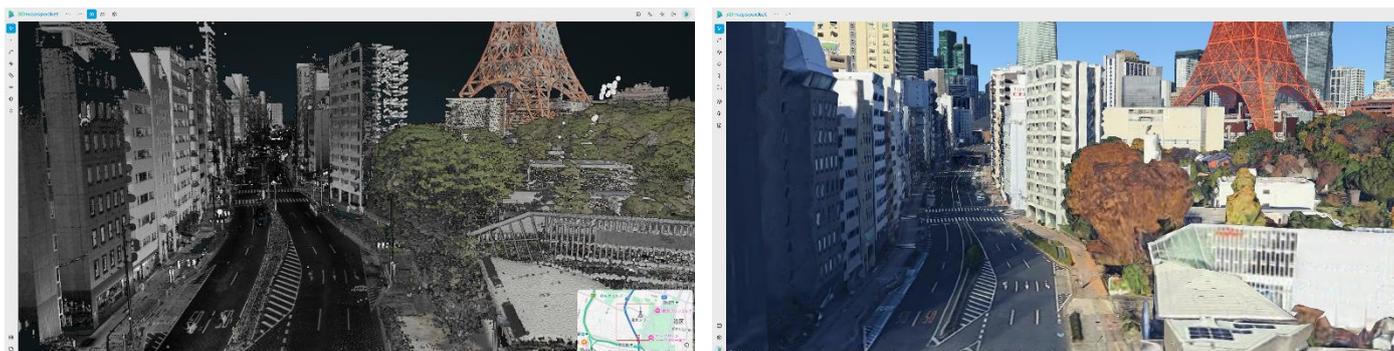
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、「3Dmapspocket®」をこれまでの「高精度 3 次元点群データのビューアサービス」から都市空間の計測・分析・評価まで可能な「総合 3D 空間プラットフォーム」へと機能・用途の範囲を拡張し、新たなプロダクトとして再定義しましたことをお知らせします。

今回のアップデートにより、実写 3D による表示*に対応しました。従来の点群データ上での高精度な計測機能に加え、実写 3D 環境での距離・高さ・面積等の計測や、ユーザーが作成した任意の 3D オブジェクトの配置、街路レベルの評価などがワンストップで可能となります。

このことにより、3Dmapspocket®はこれまでの“点群ビューア”の枠を超え、複合的な空間検証を一元化する“総合 3D 空間プラットフォーム”として、都市開発、まちづくり、インフラ管理、事故調査、不動産開発など幅広い現場で活用領域を拡大します。

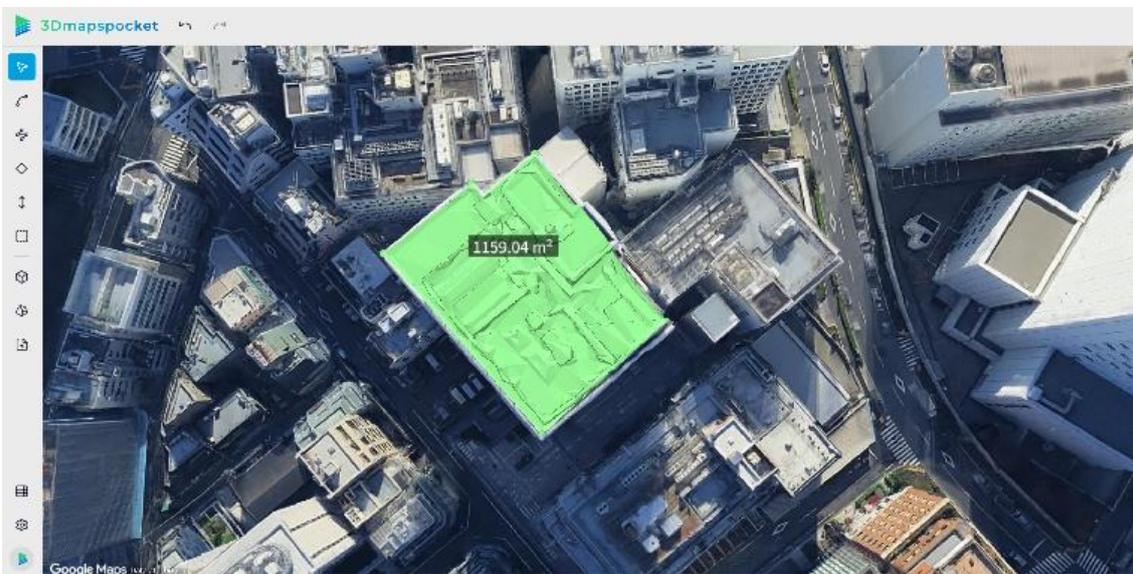
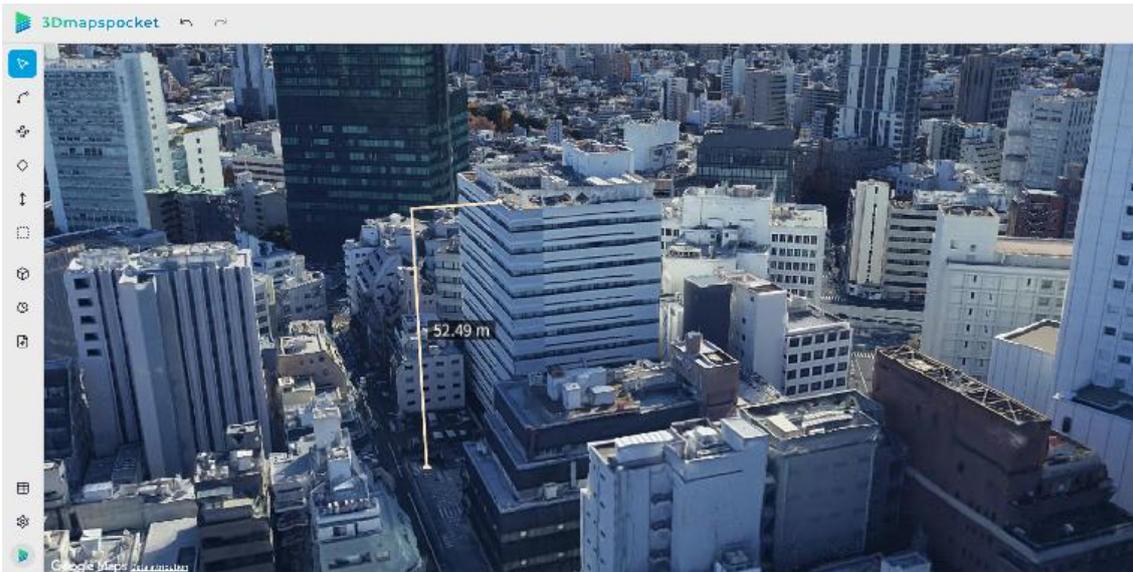
当社はビジョンである「Modeling the Earth」の実現に向け、今後もプロダクトの機能アップデートを柔軟に進め、デジタルインフラの整備を推進してまいります。

- 「3Dmapspocket®」新機能ご紹介動画: https://youtu.be/V_Y89ew-siY

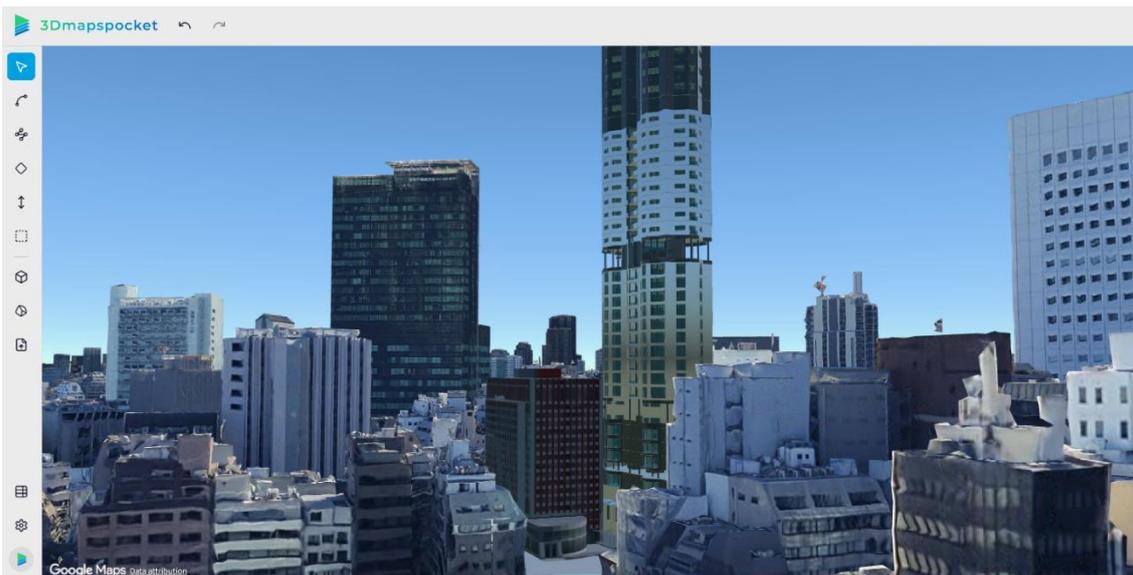


(左)高精度 3 次元点群データ表示(既存機能) (右)実写 3D 表示(新機能)

※Google Photorealistic 3D Tiles による表示



高さ・面積の計測イメージ



3D オブジェクトの配置イメージ

■本件に関する問い合わせ

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

メール：ir@dynamic-maps.co.jp

HP：<https://www.dynamic-maps.co.jp/>